

記念講演

AI・IoT革命とKAITEKI会社・SAITEKI社会

小林 喜 光

株式会社三菱ケミカルホールディングス
取締役会長

目 次

- | | |
|--|--|
| 1. はじめに | 5. Z軸：“Sustainability” Public Interest & Environment |
| 2. 三菱ケミカルホールディングスのご紹介 | 6. X軸：“Economics” Profits & Efficiency |
| 3. 三 次 元 的 企 業 価 値 “THE KAITEKI COMPANY” | 7. 国家価値への敷衍 “Japan 2.0” と「SAITEKI 社会」 |
| 4. Y軸：“Technology” Innovation & Frontier | |

1. はじめに

2007年の4月に三菱ケミカルホールディングスの社長に就任したときから、当社を古い石炭化学・石油化学依存の会社からいかに脱皮させていくかと常に自問する中で、経営とは「とにかく変えていくこと」だと思うに至った。その意気込みを示すため社長室でカエルを飼ったりもしたが、まずはそれまで当社になかった、皆がその下に集える「御旗」を掲げることにした。「XX自動車株式会社」や「YYビール株式会社」だったら社員にとって社業が明確であるのに対して、「化学」という学問の名を冠した当社は黒いコークスから白い薬まで多様な商品群を手掛けていて、統一のないイメージが浮かばない。そこで、当社は社会に快適を提供する、社会が快適であることをサポートする企業体でありたいと定義づけた。そのうえで、KAIZENが世界語になっているように、快適という言葉もグローバルに使えるようにしたいと



の強い思いもあって、当社のコーポレートブランドをアルファベットの「THE KAITEKI COMPANY」とした。また、社員の行動規範として『APTSIS』というグループモットーを創った。Aはagility、スピードが全てだということ。Pはprinciple、皆が原理原則を共有して会社のベクトルを合わせること。Tはtransparency、透明性と説明責任である。良いことは放っておいても聞こえてくるが、悪い情報は下からほとんど